

社歴研学2009

昨年の文化祭時から、社歴研の活動のひとつに「月一回の社会科見学」が加わりました。

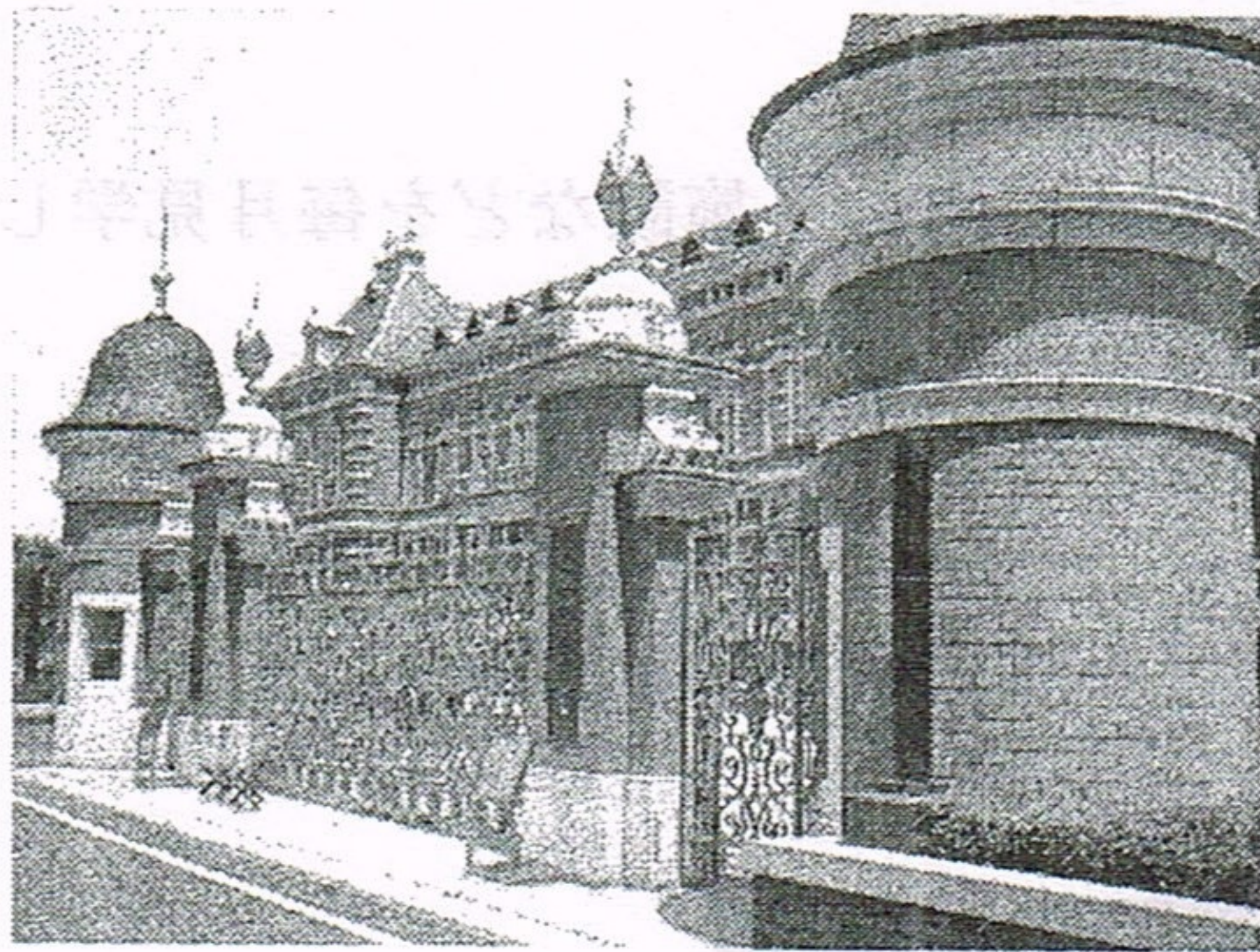
当同好会では、さまざまな博物館や歴史資料館、実際に使われている施設などを毎月見学しています。行先は、部員全員で決めました。

ここでは、昨年7月から今年の7月までの1年間の間に行った見学の様子を紹介します。

見学日	見学先
2008/7/15	警視庁庁舎・法務省旧本館
10/8	味の素グループ高輪研修センター
11/23	陸上自衛隊広報センター（朝霞駐屯地）
12/5	明治大学博物館
2009/1/25	物流博物館
2/11	NHK放送博物館
3/9	國學院大學 伝統文化リサーチセンター資料館
4/29	昭和館
6/10	切手の博物館
7/13	最高裁判所・大法廷

2008年

7月



法務省旧本館

警視庁庁舎

東京都千代田区霞が関1-1-1

東京都千代田区霞が関2-1-1

☎03-3592-7911

☎03-3588-4321

最初の「社歴見学」は、法務省旧本館内の法務史料展示室でした。

法務省のこれまでの歴史など、「司法の近代化」をテーマに、数々の貴重な史料とともにわかりやすく展示されています。

またこのときは裁判員制度開始前ということもあり、同制度についても詳しく触れられていました。

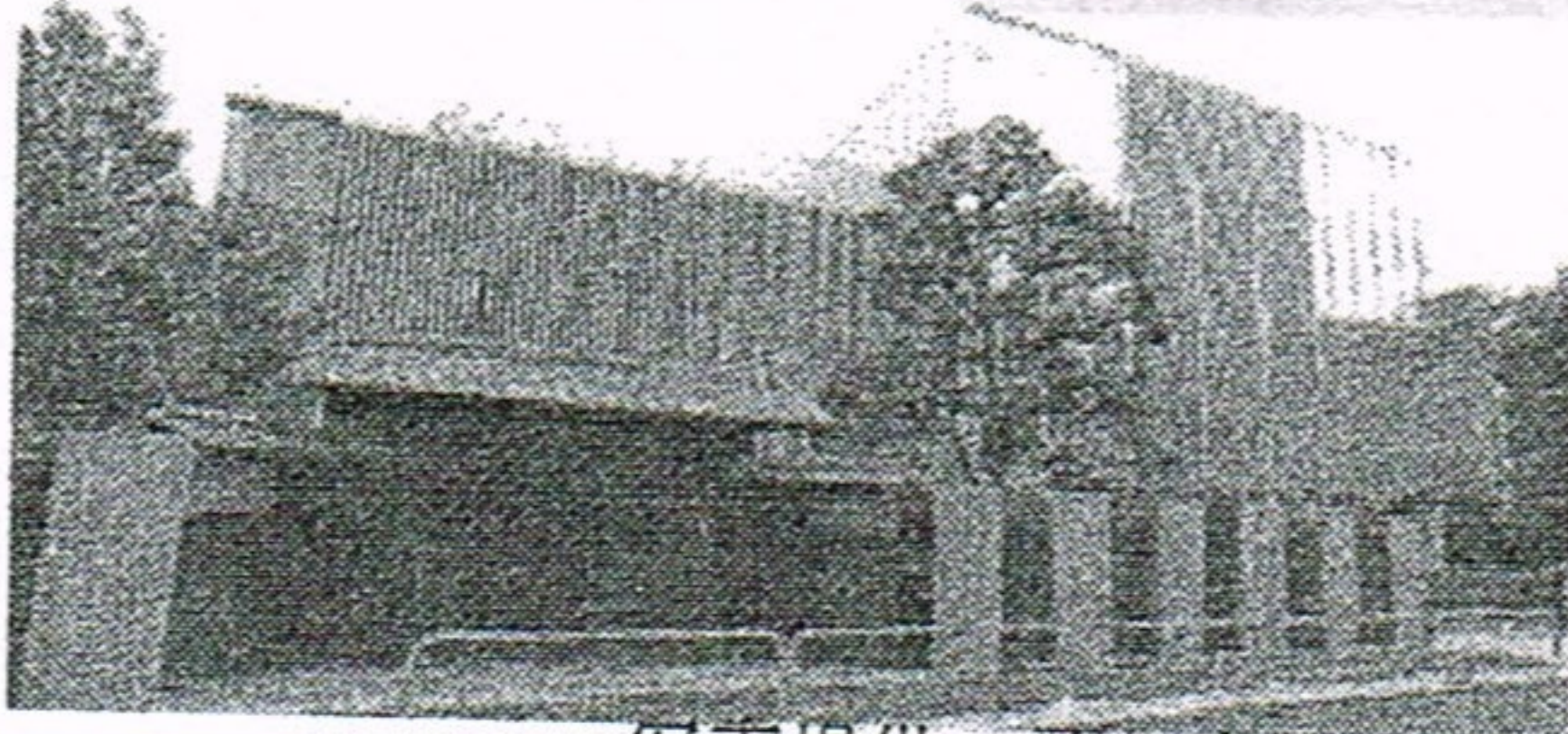
また、法務省旧本館と警視庁庁舎が距離的に近かったこともあり、同日中に警視庁庁舎内の見学ツアーにも参加しました。

ここでは、マルチ画面での説明を受けた後、警察参考室（警察の歴史を資料と共に展示）、通信指令センターなどを見学。

指令センターの正面画面に110番通報の内容が表示されるシステムになっていますが、そこに「いたずら」といった文字がたくさん並んでいるのが印象的で、また残念に思いました。

10月

AJINOMOTO.
食と暮らしの小さな博物館



写真提供：味の素株広報

味の素グループ高輪研修センター

東京都港区高輪3丁目13-65

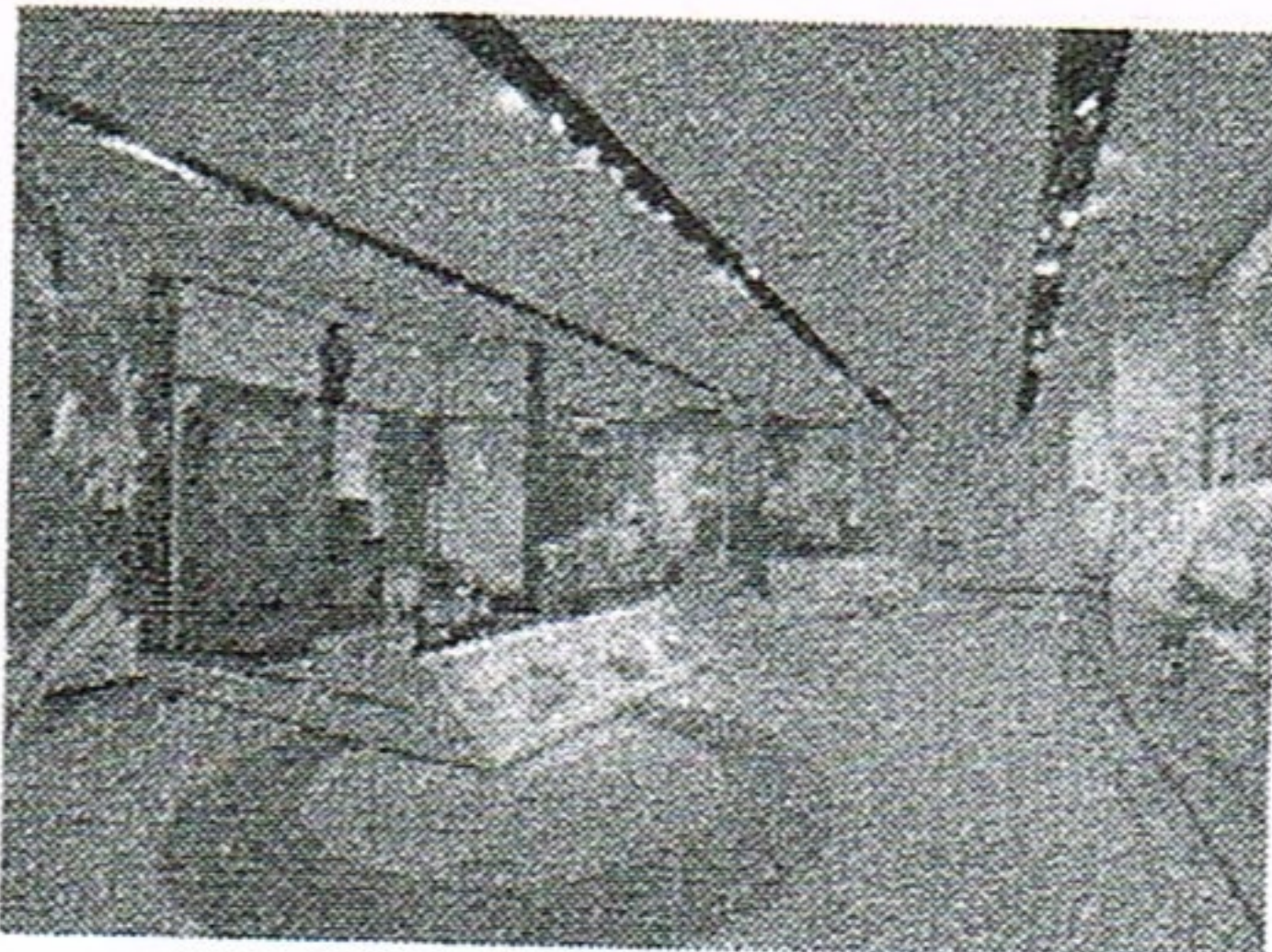
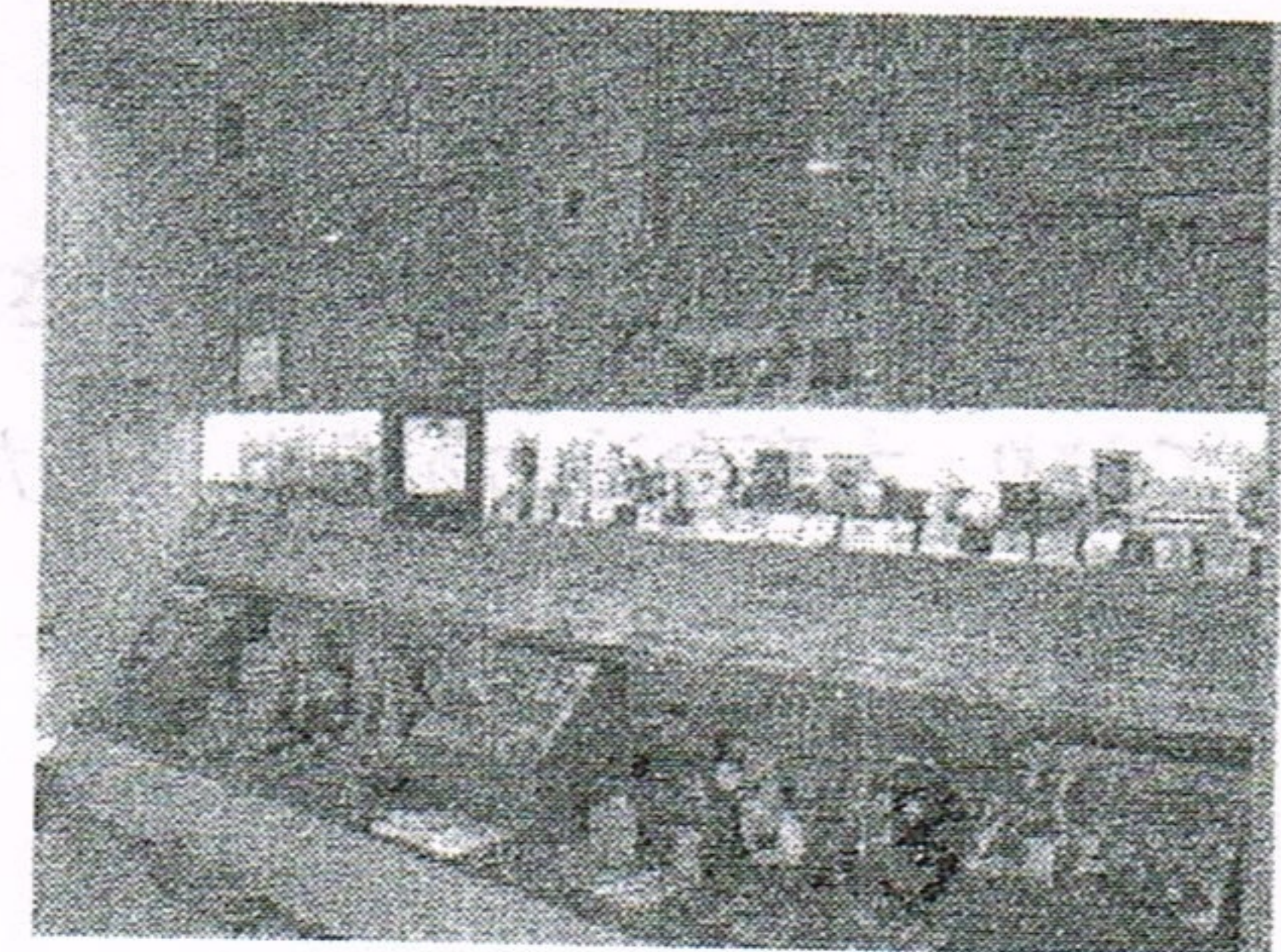
03-5488-7318

高輪学園から徒歩数分の距離にある味の素グループの研修センター。

ここでは、「食と暮らしの小さな博物館」において、時代ごとの世相や人々の暮らしの雰囲気を楽しみながら、味の素グループの100年にわたる歴史と、将来に向けた活動を知ることができます。

展示「社会と歩んだ一世紀」(右写真)

では、その当時の味の素グループの食品だけでなく、流行した玩具や新聞などの実物を展示しており、新しい形での面白い展示方法だと思いました。



左写真は、「くらしと食卓」の展示。

時代を象徴する食卓風景が再現されています。(昭和10年、昭和35年、昭和55年)

実際に上がって当時の様子を体感することもできました。

11月



陸上自衛隊広報センター

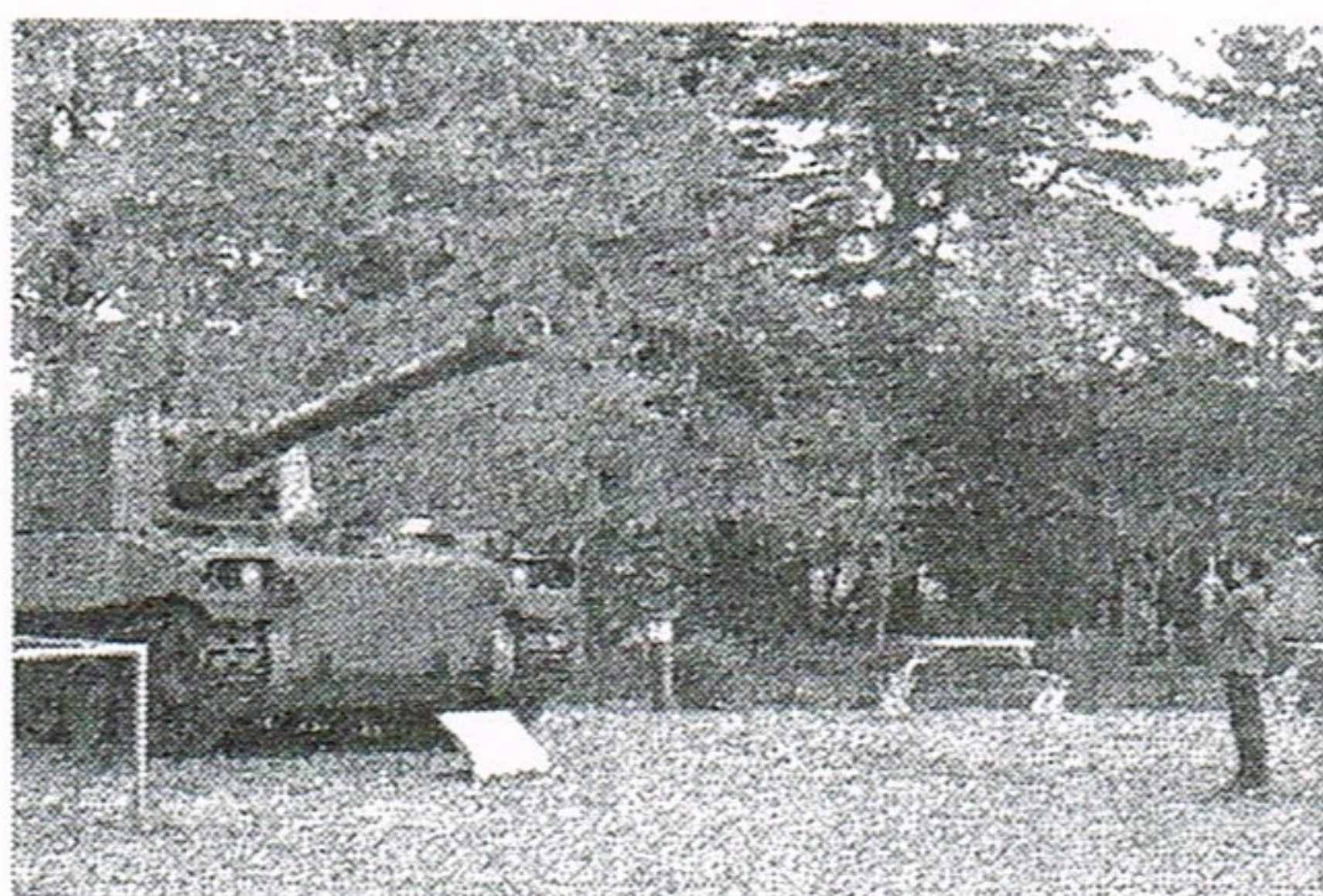
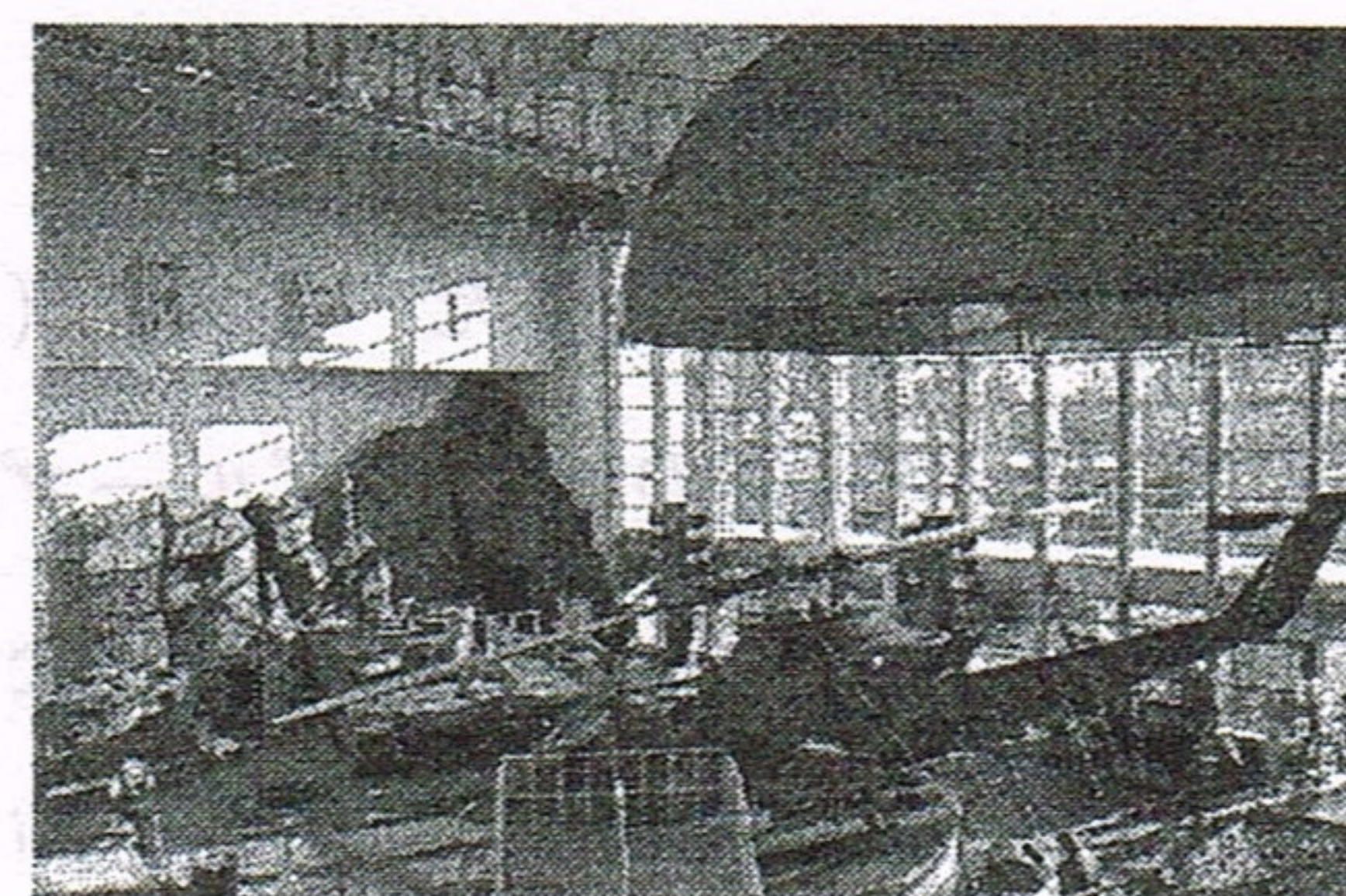
東京都練馬区大泉学園町

☎03-3924-4176

11月は少し足を延ばして陸上自衛隊の広報センターへ。同センターは東京都と埼玉県の県境に位置する朝霞駐屯地内にあります。

館内（右写真）には軍用ヘリコプターAH-1S（通称：コブラ）や90式戦車などの実機が展示されており、大変な迫力がありました。

他にもフライトシミュレーター、射撃シミュレーターなど。



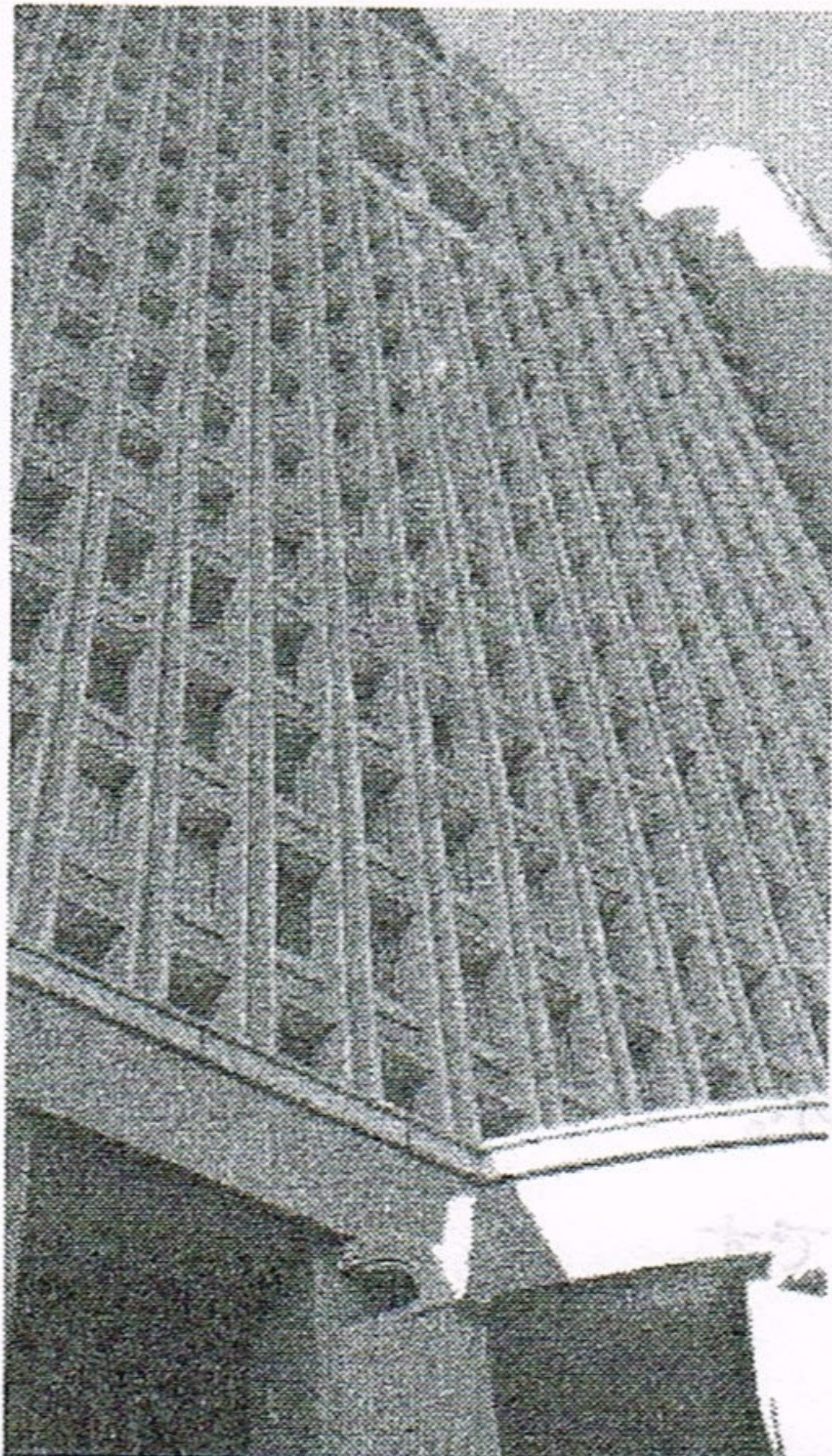
館内だけでなく、屋外にも実機戦車・戦闘ヘリの展示があります。その数はなんと数十機！！

重装備の兵器が並ぶその様子は映画「ゴジラ」の一場面を見ているかのようです。

12月



明治大学博物館



明治大学博物館

東京都千代田区神田駿河台 1-1

アカデミーコモン地階

☎03-3296-4448

明治大学・駿河台キャンパス内

にある「明治大学博物館」。

大学史・商品部門・刑事部門・

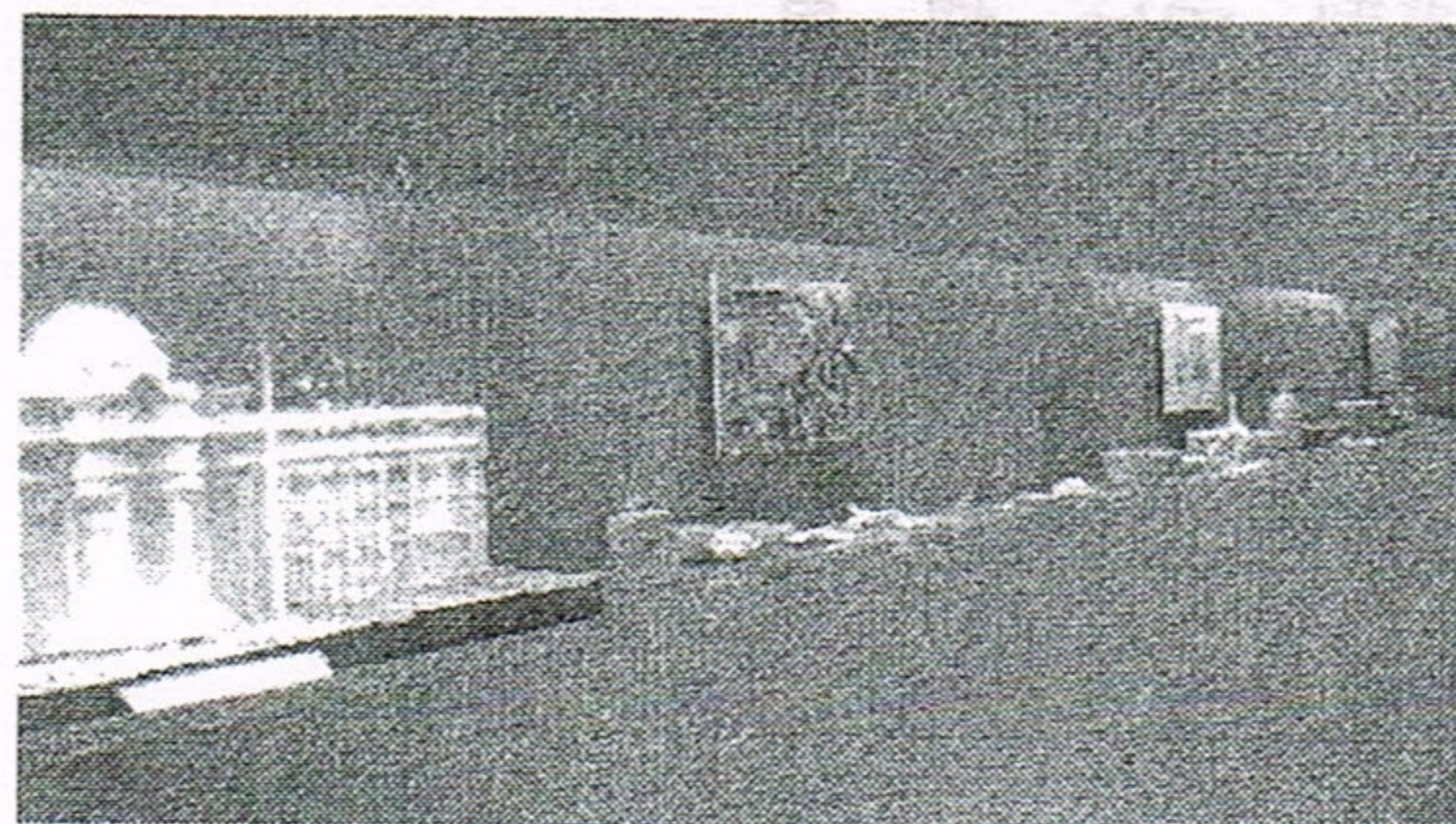
考古部門の4つに分かれており、

それぞれ異なったテーマのもとに

展示&紹介されています。

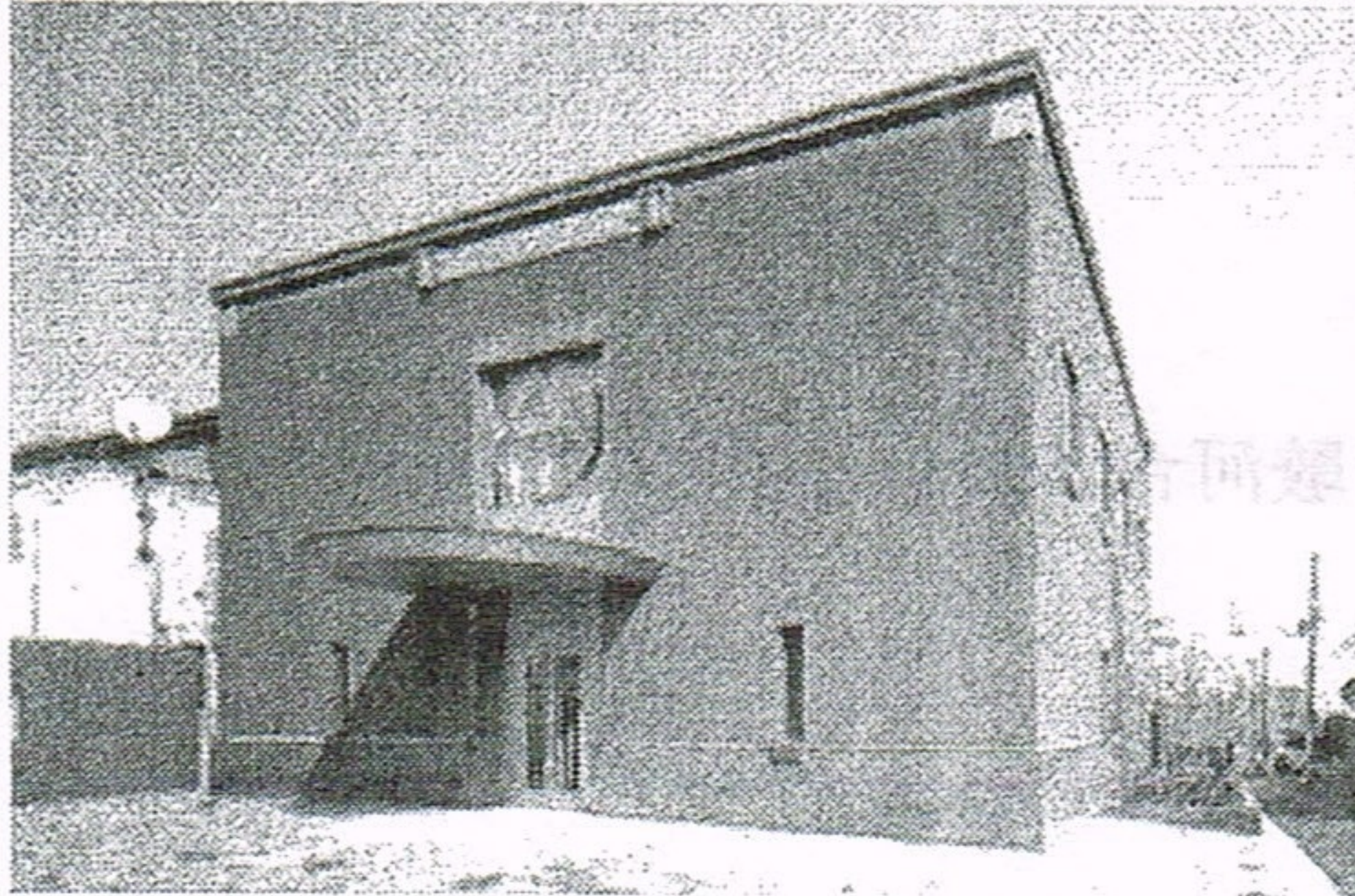
館内は厳かな空気、暗めの
展示コーナーでした。

大学博物館ということも
あり、大変細かい部分まで踏
み込んだ内容の展示が行わ
れています。



印象的だったのは、刑事部門の展示。江戸時代の捕者具、日本や拷問・処刑具などの説明・資料があり、とても勉強になりました。

また同博物館展示のギロチンなどは、なんと日本唯一の展示だということです。



物流博物館

東京都港区高輪4-7-15

☎03-3280-1616

高輪学園から品川駅へ向かう途中にある物流博物館。

「物流」の歴史やしくみを、クイズやゲームでわかりやすく展示。

もとは日本通運(株)本社内にあった「通運史料室」が基礎だそうです。

地下一階にある「物流ターミナルのジオラマ模型」では、朝・昼・夜の24時間と、陸海空の物流の関係が細かく再現されています。

この模型で登場する貨物ターミナルはすべて実在すること。

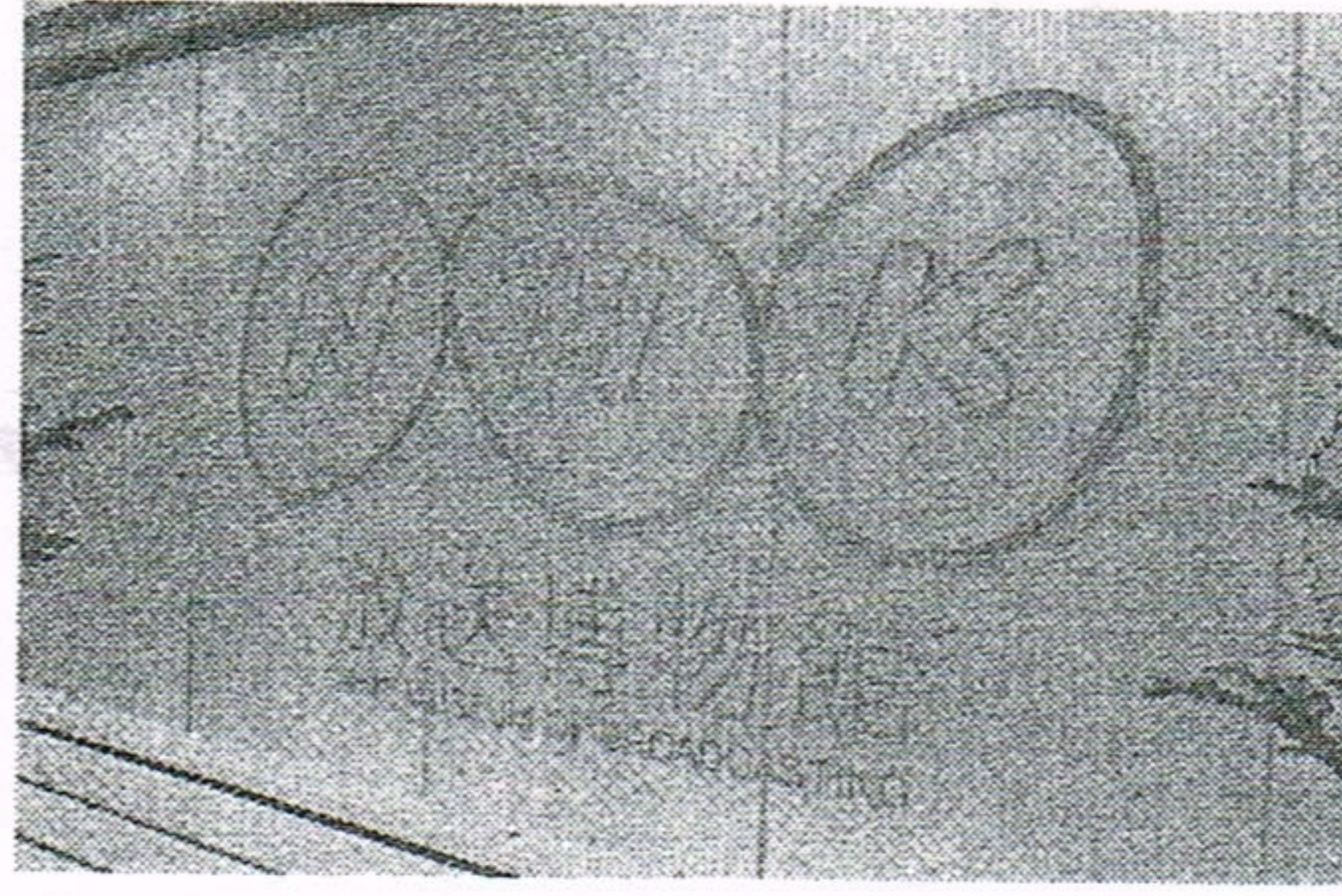


一般的な博物館と同様に、「物流の歴史」についてもていねいに解説されています。

物流関連事項の歴史年表や問屋場の模型、戦後の荷役包装の発展についても展示。

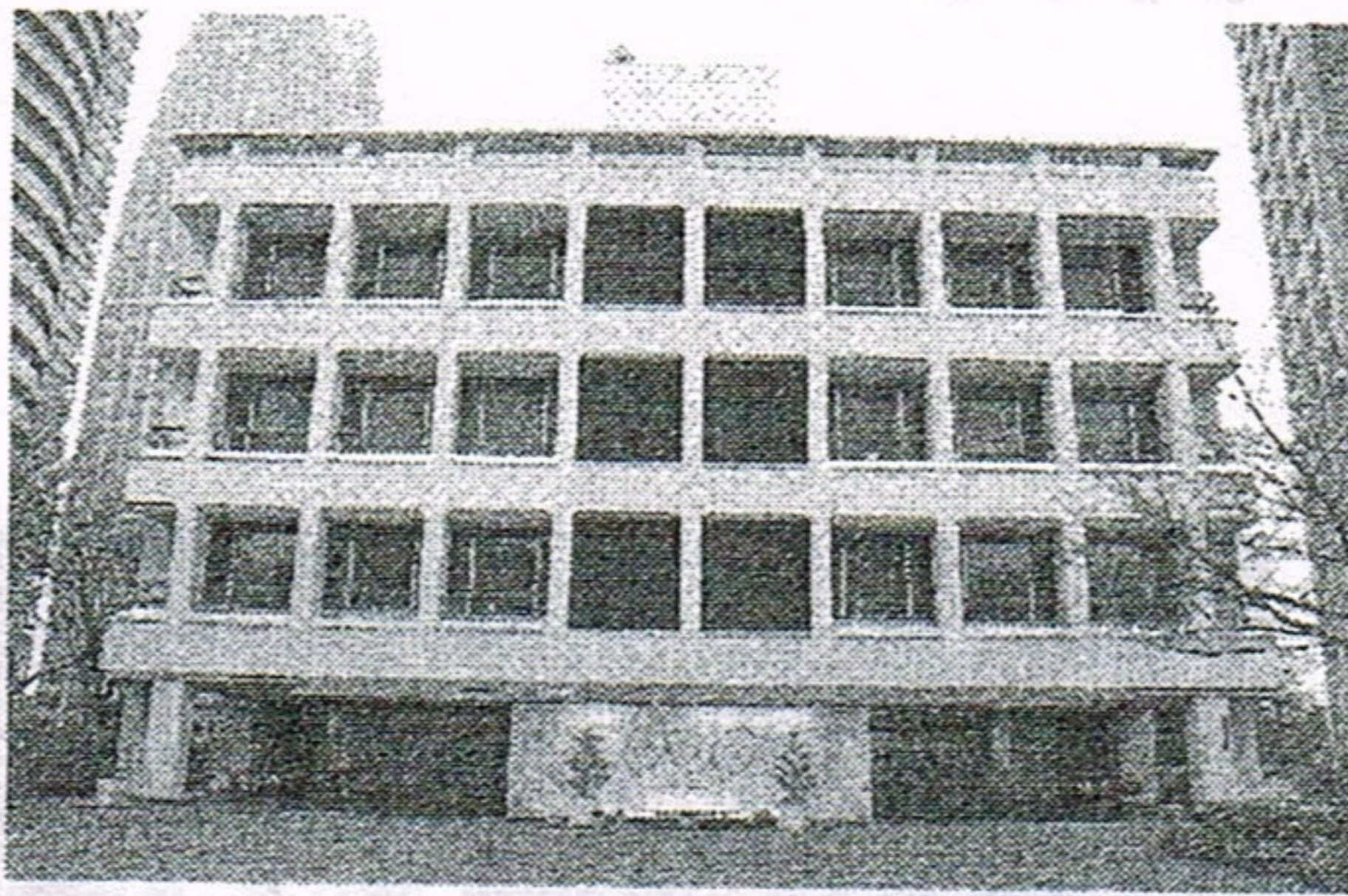
史料のあまりの豊富さに驚きました。

2月



NHK

日本の放送が始まってから80余年、放送はラジオからテレビへ、さらに衛星放送、デジタル放送へと大きく進歩・発展してきました。

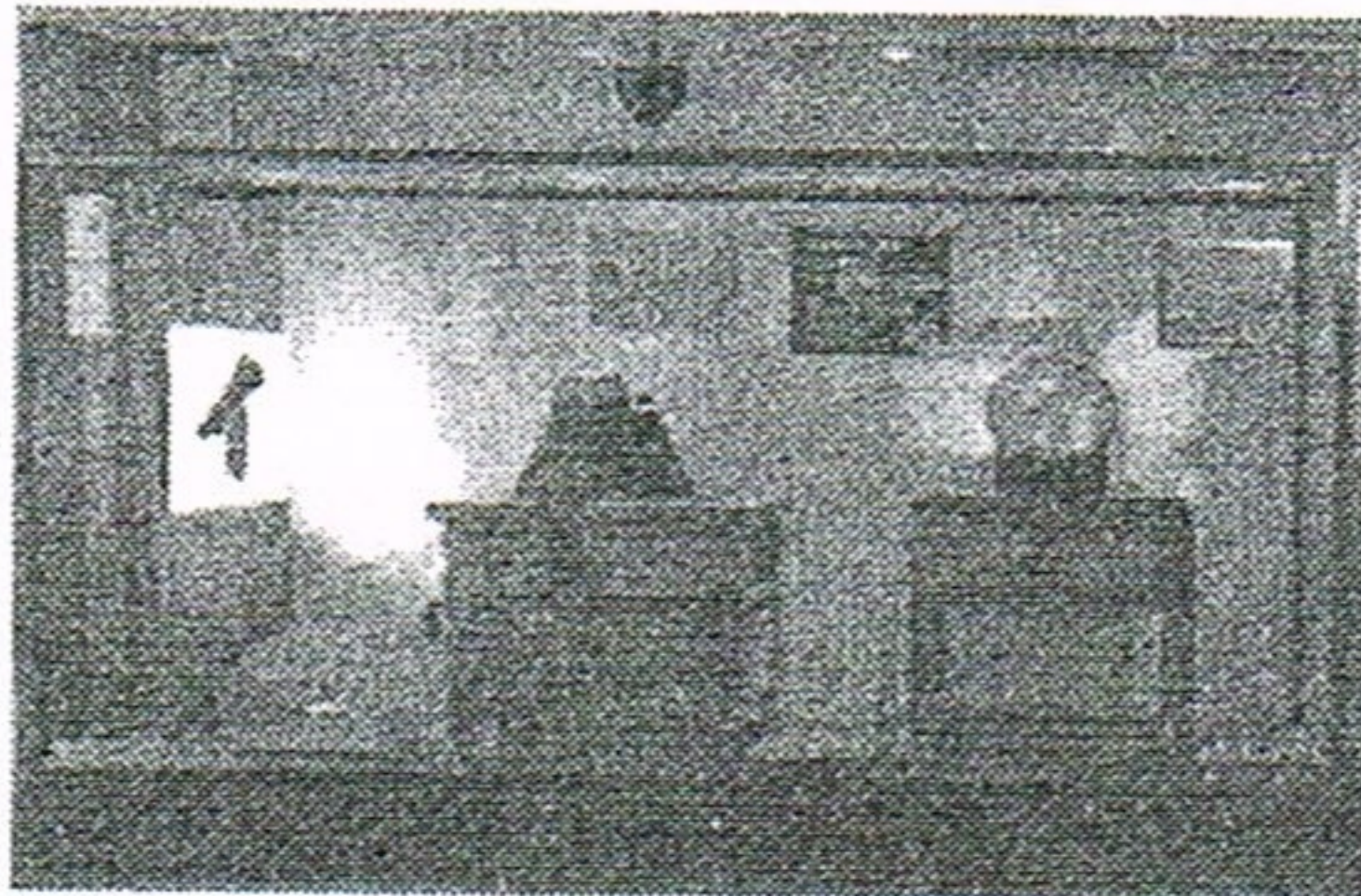


NHK放送博物館

東京都港区愛宕2-1-1

☎03-5400-6900

放送の始まりから放送の歴史、そして放送が伝えてきた様々な事件を、番組を通して振り返る形で展示されています。

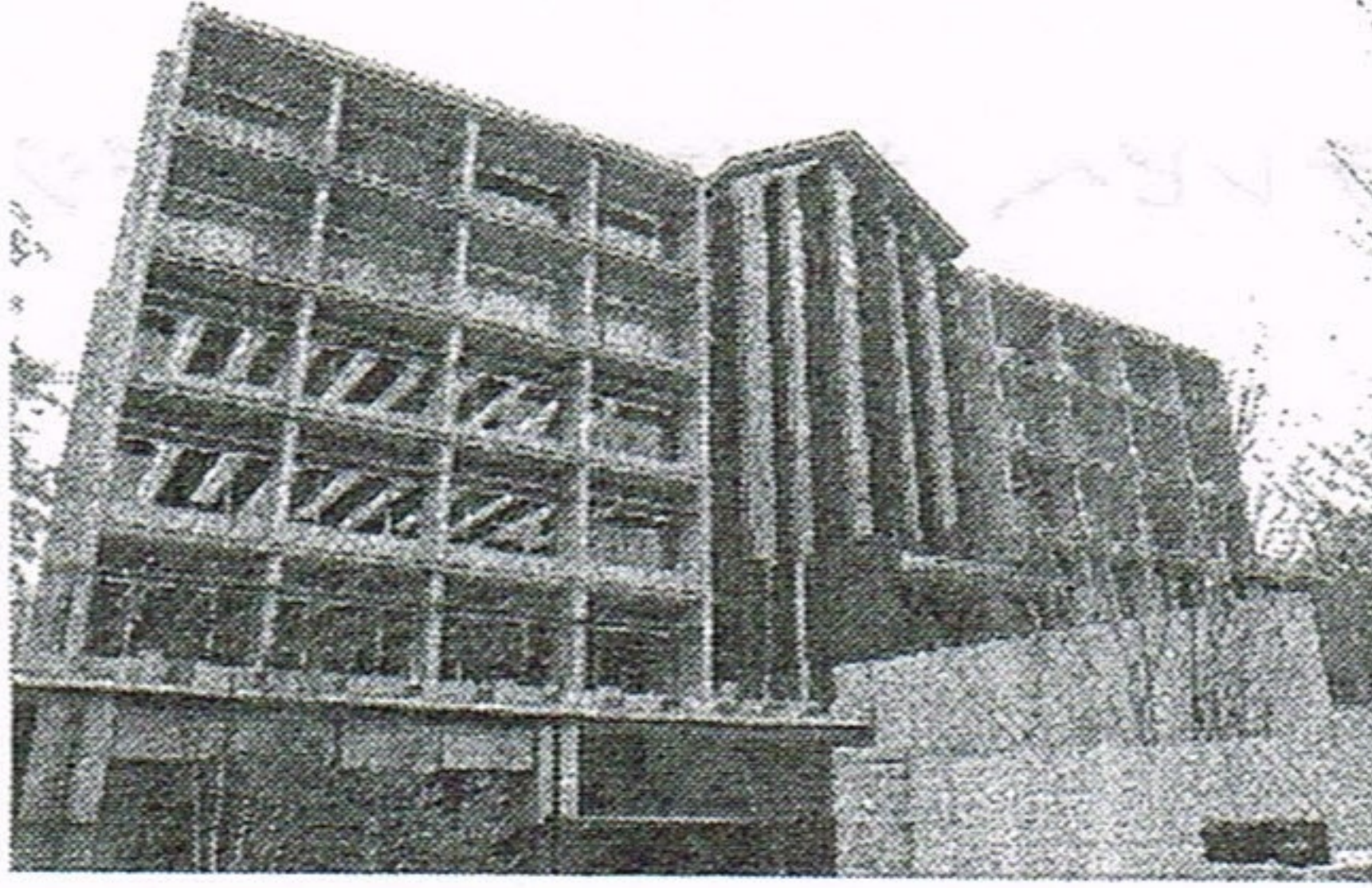


1階フロアでは、“日本のテレビジョンの父”高柳健次郎氏が製作したテレビが復元され、当時と同じ「イ」の文字が写し出されています。



 國學院大學
Kokugakuin University

伝統文化リサーチセンター



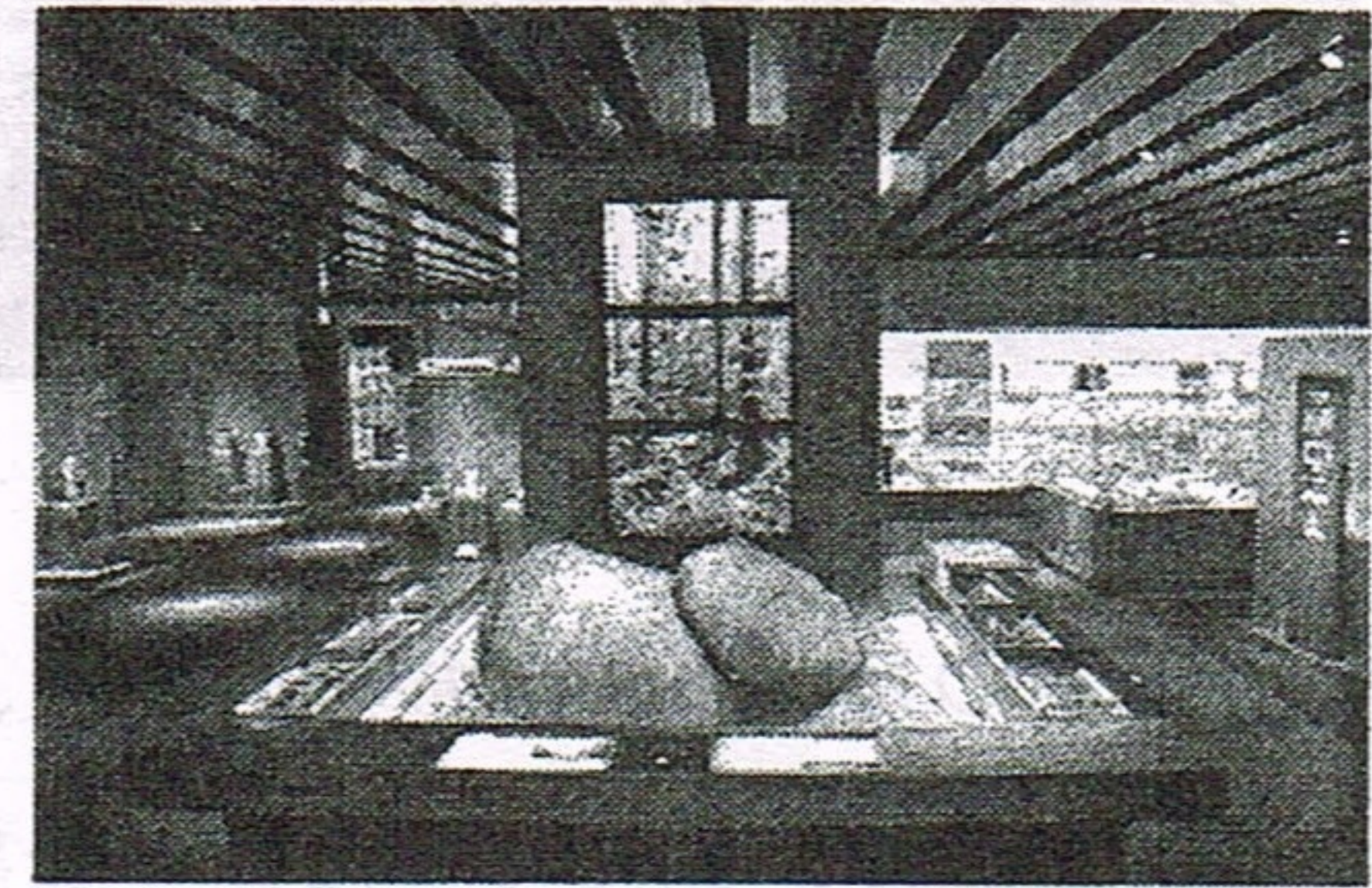
國學院大學伝統文化リサーチセンター

東京都渋谷区東4丁目10-28

☎03-5466-0104

この博物館の館内も、明治大学博物館と同様に暗めの雰囲気。

祭祀遺跡・神社祭礼における「モノと心」をクローズアップ、祈りの文化を学ぶことができます。

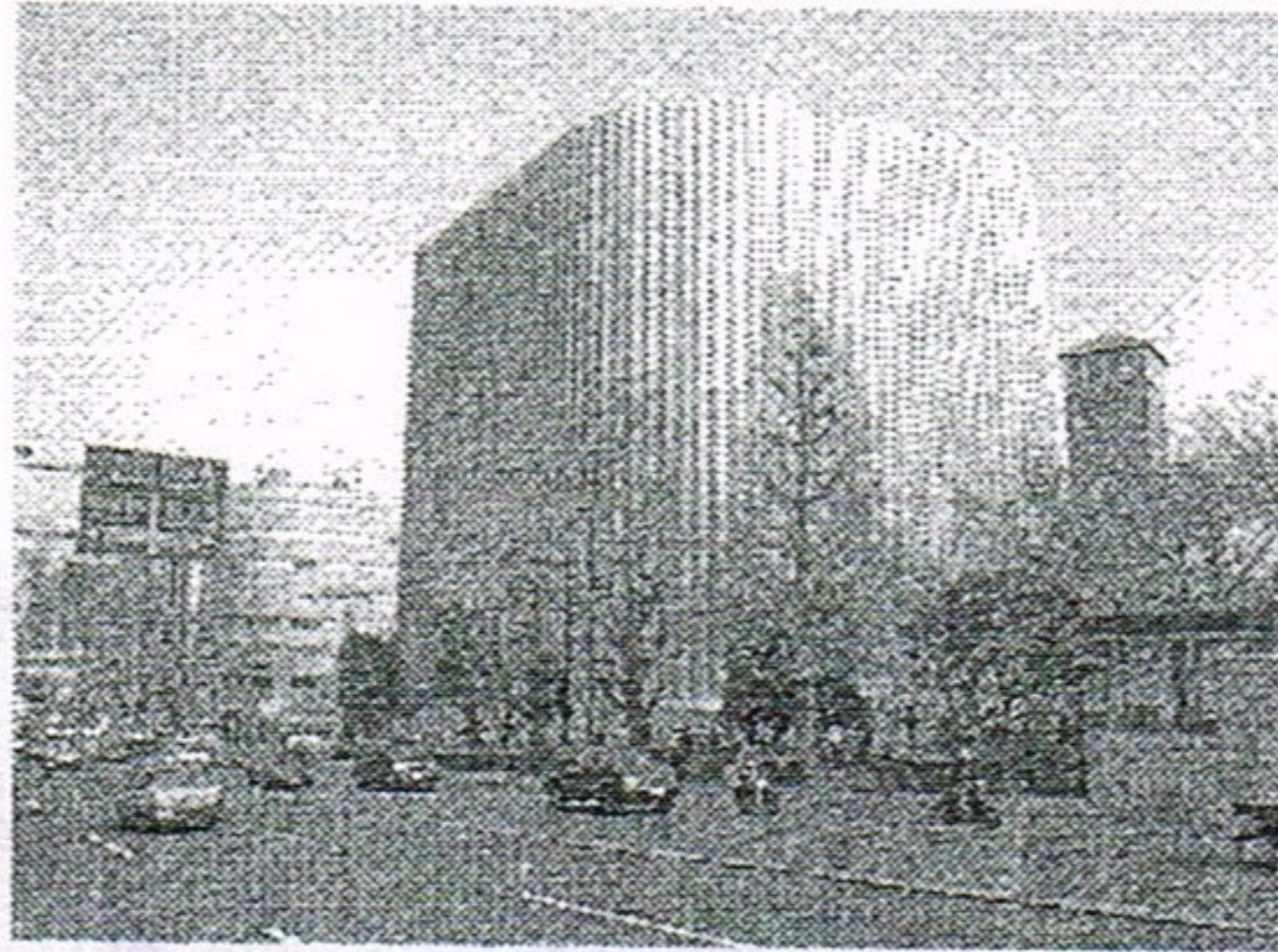


館内には展示内容について細かく書かれた解説プリントがいたるところに設置されており、詳細な知識を得ることができました。

祈る気持ちは、今も昔も一緒。そう実感させてくれるような展示でした。

朝

昭和館



昭和館

東京都千代田区九段南1-6-1

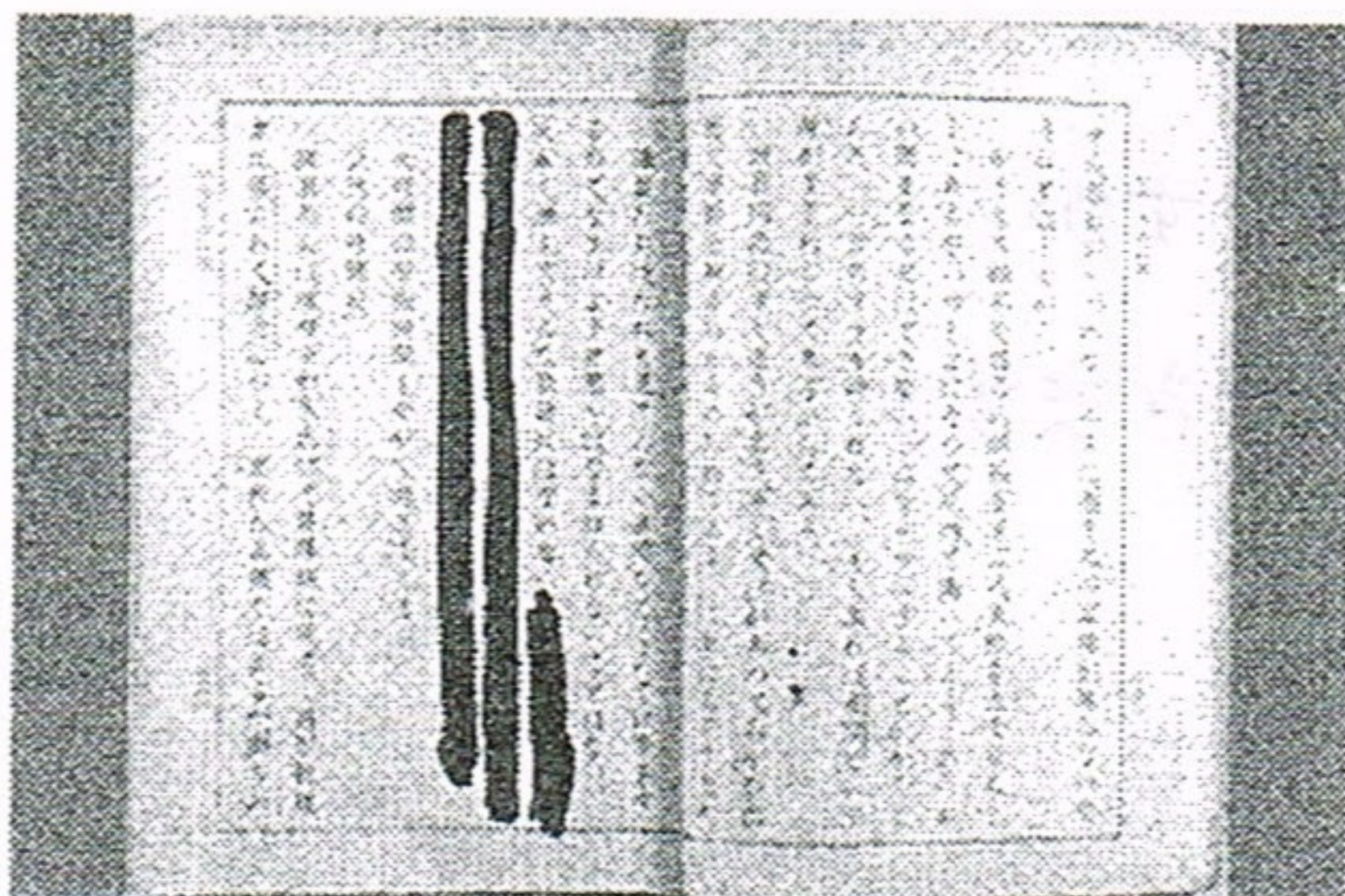
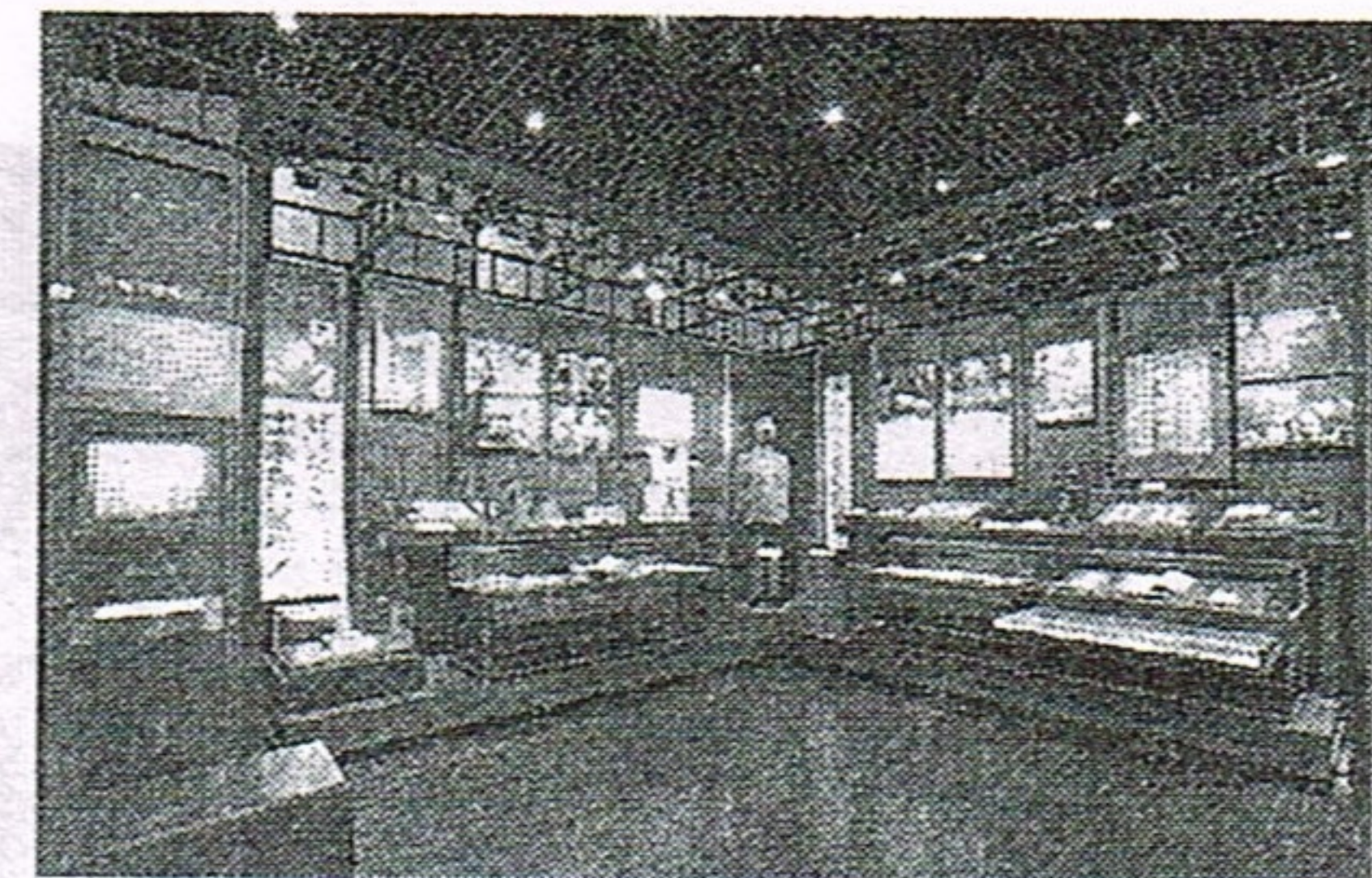
☎03-3222-2575

昭和館は、戦中戦後の国民生活を中心とした資料を展示しています。

国立の博物館で、所管は厚生労働省です。

館内には歴史資料集でおなじみの戦中の看板・標語などがならんでいました。

戦中の厳しい生活の様子、身をもって感じました。



当時の墨塗り教科書（左写真）

も解説と共に展示。

昭和館では戦中のみならず、戦後の復興への活気ある様子も見て

6月

切手の博物館



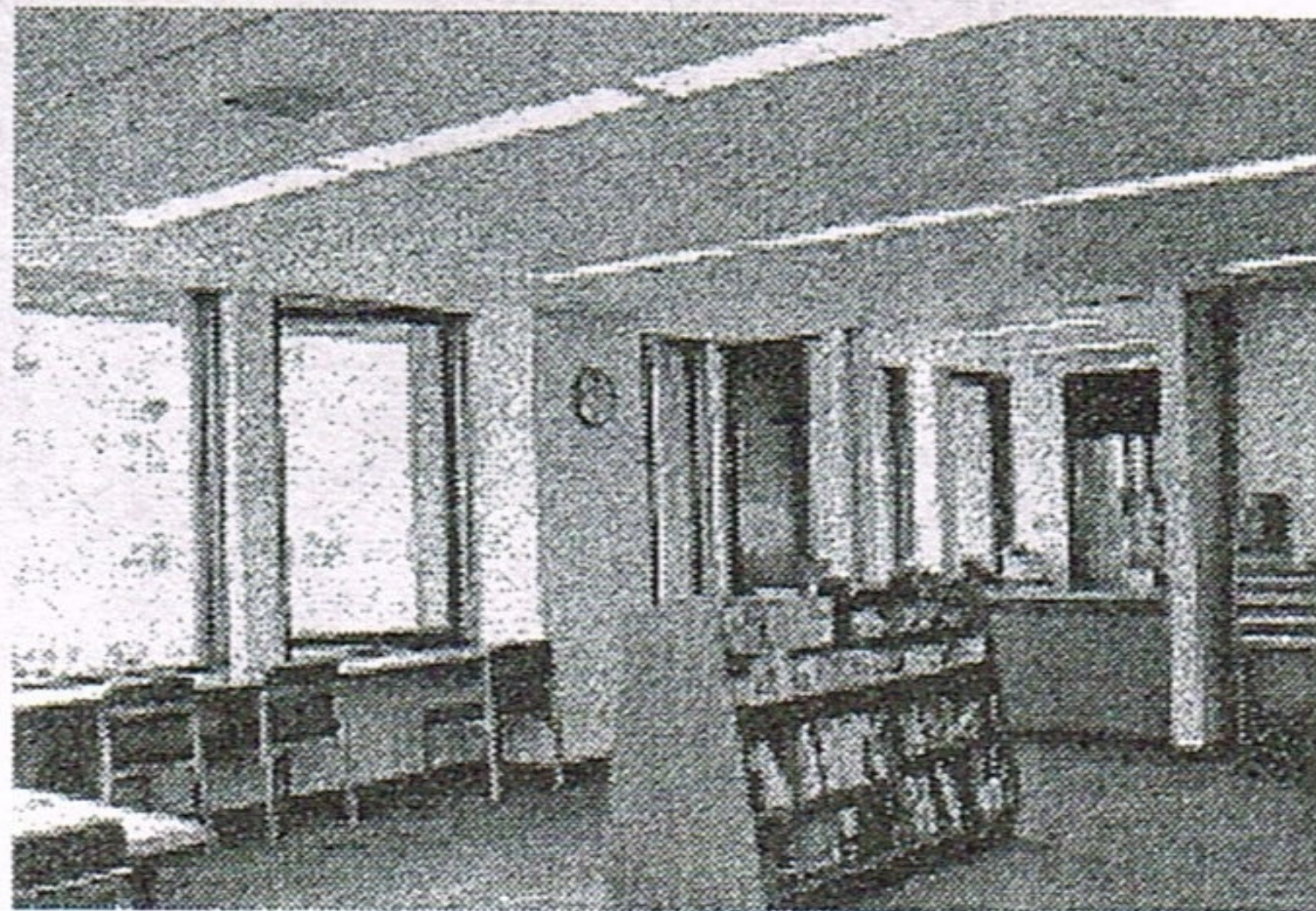
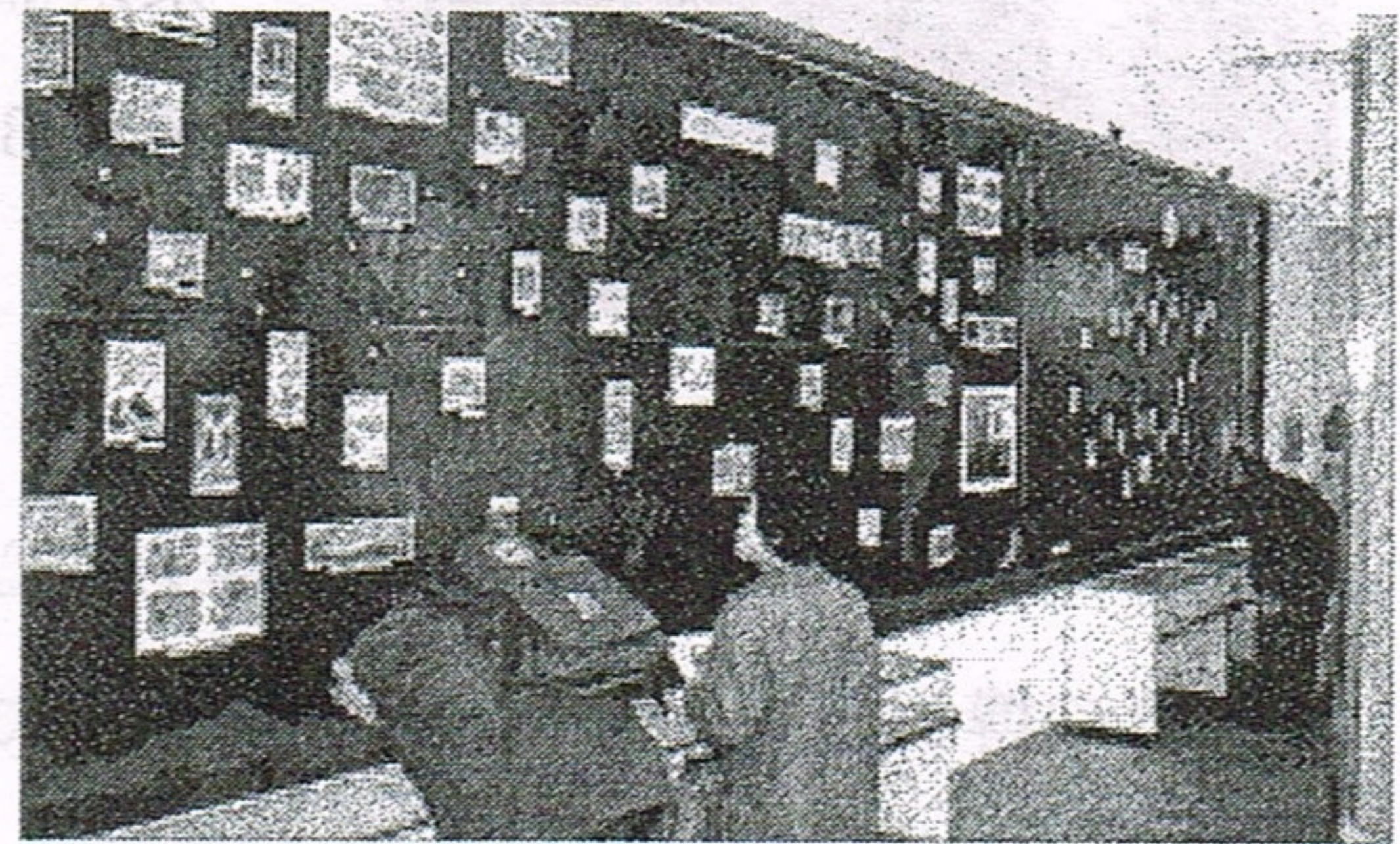
切手の博物館

東京都豊島区目白1-4-23

☎03-5951-3332

1階では3ヵ月ごとの
企画展が行われます。

我々が訪れたときには、
「切手珍国博覧会」展が行
われていました。(右写真、
同博物館HPより)



この博物館はとにかく切手の
種類が豊富です。

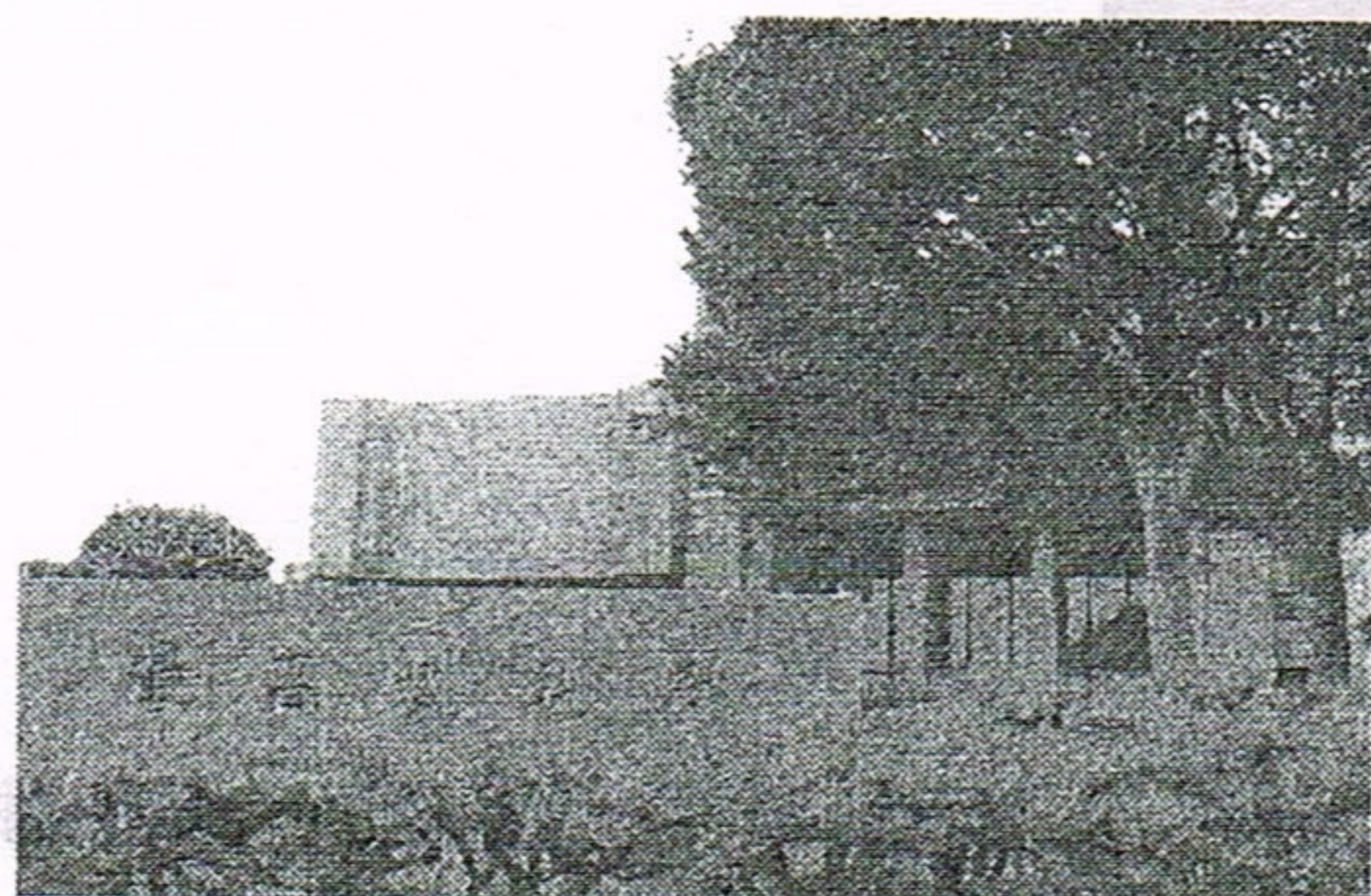
2階の図書室では、世界各国
の切手の図柄を網羅した図鑑を
みることができます。

切手に興味がなくても楽しめました。切手は時代を映す鏡ですから、
切手の図柄を追うことで日本の歩んできた道をなぞることができます。

7月

【国営兼職】2002学期型社

最高裁判所



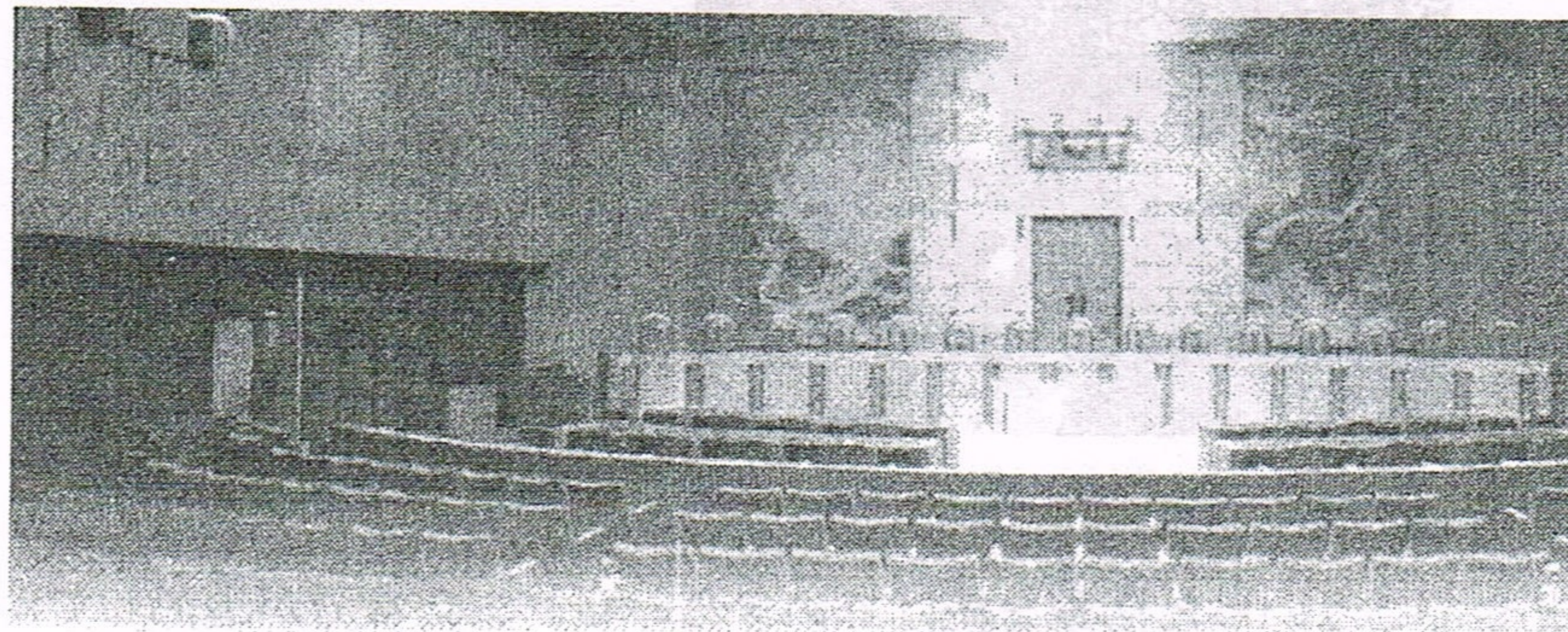
最高裁判所

東京都千代田区隼人町4-2

☎03-3264-8111

1年ぶりの政府系施設の見学となりました、最高裁判所。

裁判の仕組みと最高裁の大法廷を見学することができました。



裁判所大法廷（上写真、最高裁HPより）です。

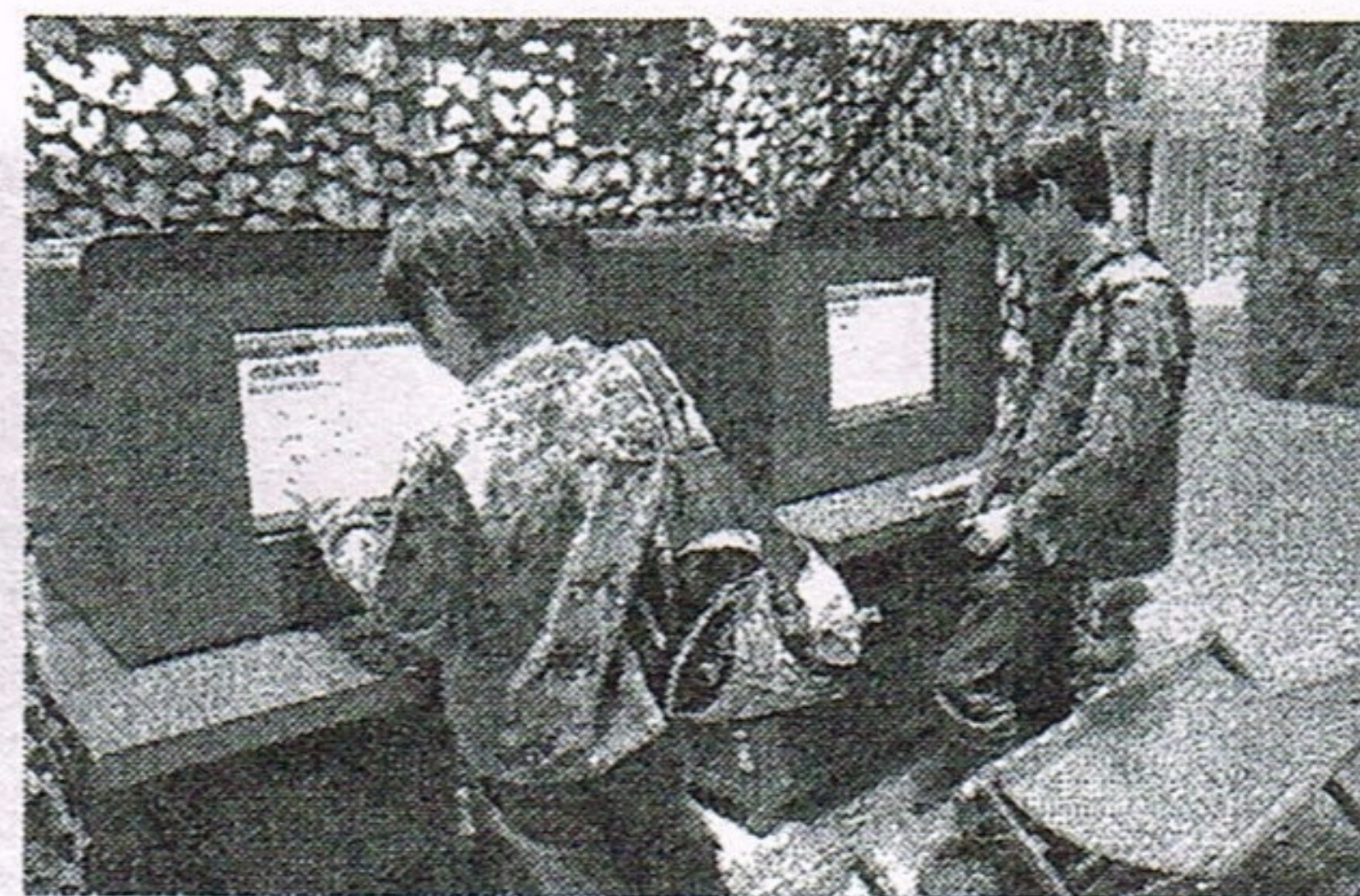
あまりの広さにビックリ。法廷内では、前後にかけられた2枚の絵の説明や、最高裁の石に隠された豆知識などを教わりました。



東武東上線池袋駅西口

振り返ってみると、本当にたくさんの場所へ見学に行ったのだなと実感しました。数えるところ10ヵ所にもおよび、これは当同好会の誇れる「活動履歴」なのかも知れません。

時間のあるうちにこのような形でさまざまな施設・博物館を訪れて、その見聞を広めることができるというのは、自分は本当に恵まれた環境に置かれているなとも思いました。



これからも「社歴研」としてこういった活動を続けていきたいし、また自分が退部してからも続けてほしい。

この社歴見学が、「社歴の恒例行事」となることを願ってやみません。

最後になりましたが、このすべての見学に同行し、ぼくたちの活動に協力してくださった顧問の高澤先生に、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

2009年9月22日 部長